

認定番号：24 サポーター名：日本工営株式会社

▶実施内容の分類：(2) 流域治水に関する広報資料の配布・掲示、アナウンス等

取組実績

- 福島県いわき市と当社は、流域治水の推進に向けて相互に連携・協働することを目的に、「流域治水の推進に関する連携協定」を令和4年4月28日に締結しました（図1参照）。
- 流域治水に関する情報共有や、当社が有する先端技術を活用した防災プラットフォーム（防すけ@）の実証を連携・協働しながら行うことで、流域治水を推進し、いわき市内（夏井川流域）の水害の防止・軽減を目指した取り組みを行いました。
- 国土交通省のワンコイン浸水センサ実証実験にいわき市と連名で参画し、浸水状況を把握する仕組み作りを行いました。
- いわき市流域治水通信への発行協力をを行いました（図2参照）。

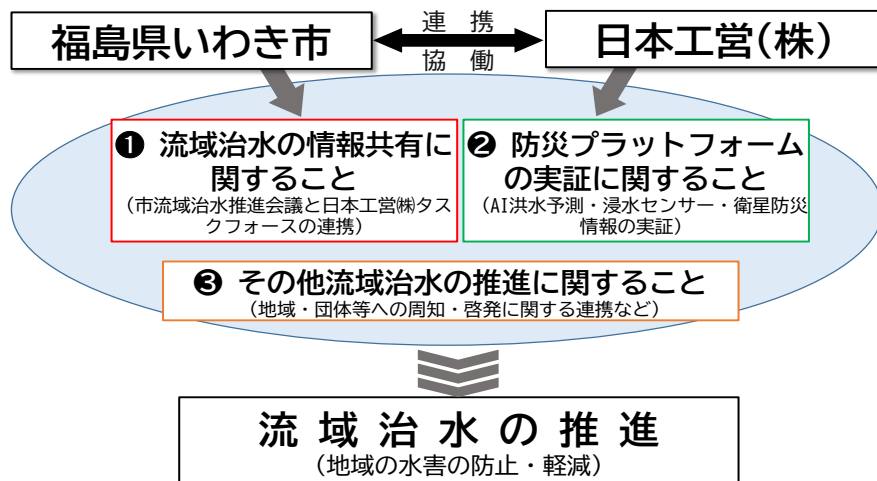


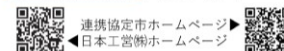
図1 連携協定図

流域治水通信 vol. 4

PICK UP

企業との連携協定 with 日本工営(株)

いわき市は、「流域治水」の推進に向けて互いに協力し、地域の水害の防止・軽減を目指すために、令和4年4月に、日本工営(株)と連携協定を締結しました。これにより、同社の専門的な知見を活かした、安全・安心な暮らしの実現に向けた取組みが推進されています。



主な連携内容

- 流域治水の各種取組みに関する情報共有
- 防災力の向上に向けた先端技術の実証（AI洪水予測・衛星技術の活用など）
- その他流域治水の推進に関する取組（地域・企業等への周知啓発に関する連携）

連携による効果と狙い

いわき市

- ① 最新技術を生かした避難判断の迅速化
- ② 災害対応の効率化による職員の負担軽減
- ③ 周知・啓発の強化による地域防災力の向上

日本工営(株)

- ① 地方都市のニーズに対する技術開発
- ② 実証結果を踏まえた技術改良
- ③ 他都市への技術展開

これまでの取組み

最新技術で「逃げ遅れゼロ」を目指す！

久之浜・大久地区で、スマホや「見守りタグ」を使った新しい避難訓練を実施しました！要配慮者等の避難中の移動情報（時間・速度・経路）を明らかに。

データに基づいた、一歩先に行く「やさしい防災」が始まっています。



流域治水通信では、関係する市内の様々な取組みを紹介しています！

編集・発行 いわき市流域治水推進会議

事務局：いわき市役所 土木政策課 河川政策担当
TEL 0246-22-7492



▶バックナンバーはこちら

図2 広報資料